

「低炭素の街づくり」はいつから始まったの？

福井県では、平成22年（2010年）6月にAPECエネルギー大臣会合が開催されました。その際、採択された「エネルギー安全保障に向けた低炭素化対策に関する福井宣言」を受けて、翌平成23年度からスタートしています。

「低炭素の街づくり」の目標は？

福井県の「低炭素の街づくり」プロジェクトでは、地域特性にマッチした省エネ・再生技術を活用しつつ、「住民が自ら参画し、低炭素社会のメリットを享受・実感できる」街づくりを目指しています。

「低炭素の街づくり」はどうやって進めているの？

平成23年8月には、産官学から成る「嶺南西部地域 低炭素の街づくり推進協議会」（事務局：福井県環境政策課）を設置しました。その後、協議会の各メンバーが、それぞれの知見を持ち寄りながら、高浜・おおい両町において、町民の方々と連携して、先進的な低炭素化の取組みを実施しています。

●嶺南西部地域低炭素の街づくり推進協議会 参加機関

福井大学、大和ハウス工業(株)、三菱電機(株)、トヨタ自動車(株)、福井トヨペット(株)、三菱自動車工業(株)、福井三菱自動車販売(株)、福井県レンタカー協会、関西電力(株)、北陸電力(株)、(一財)日本情報経済社会推進協会、(公財)若狭湾エネルギー研究センター、環境省中部地方環境事務所、経済産業省近畿経済産業局、福井県工業技術センター、高浜町、おおい町、福井県

■表紙写真

左上…佐分利川の桜／おおい町

右上…若狭富士（青葉山）／高浜町

左下…若狭たかはま漁火想／高浜町

右下…野鹿の滝／おおい町

【問い合わせ先】

福井県安全環境部環境政策課

福井市大手3丁目17番1号

TEL 0776-21-1111(代表)

0776-20-0302(直通)

FAX 0776-20-0679

E-mail ecolife@pref.fukui.lg.jp

嶺南西部地域 低炭素の街づくり 推進プロジェクト



福井県

これからのまちづくりは「低炭素の街づくり」

2

このプロジェクトの舞台「嶺南西部」（高浜町・おおい町）は、福井県のいちばん西に位置する地域。若狭湾国定公園の美しい海と山々に囲まれ、豊かな歴史・文化を育んできたエリアです。

2町の中でも、より西側に位置する高浜町は、『すし発祥の地』とも言われる地域。平城宮跡で出土した、すしの存在を証明する日本最古の現物資料に、高浜から鯛の寿司が献上されたと書かれていることがその由来です。一方のおおい町も、森が町域の90%を占める自然豊かな町。おおい町の豊かな自然は、きのこや梅、自然薯（じねんじょ）といった、この町の特産物をもたらしてくれています。



オールシーズン園芸モデル育成事業（高浜町）

重油ボイラーでの暖房が一般的なハウス園芸施設において、ヒートポンプを活用することにより、低炭素化と燃料コストの削減を同時に推進。新規の就農機会も創出し、周年出荷型園芸の振興を図ります。



集魚灯のLED化（おおい町）

イカ釣り漁船の集魚灯のLED化を支援し、漁業の低炭素化とコスト削減を推進しています。

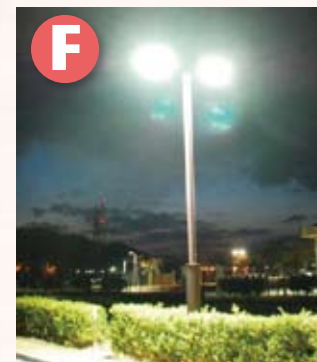


公共施設への低炭素な「灯り」の導入（両町）

住民が集まる「道の駅」や公園に、再エネ発電設備とLEDを組み合わせた低炭素型の照明設備を導入しました。



太陽光と風力で電力を得るLED照明
（高浜町・道の駅「シーサイド高浜」）



街灯設備のLED照明化
（おおい町・総合運動公園）



太陽光で発電するLED浜灯
（高浜町・城山公園）



低炭素で安全・安心な地域社会システムの構築

低炭素で快適な暮らしの創出



スマート暮らし実証事業（両町）

エリア内各地の一般家庭モニター13世帯にHEMS（Home Energy Management System）を設置。月1回の書面アンケートと併せて、データを収集することで、世帯ごとの電気、ガス、灯油等エネルギー使用の状況を丁寧に調査。様々な省エネ行動の効果検証を行うことで、この地域の気候や家屋に適した「スマート暮らし」（＝低炭素で快適な生活形態）のあり方を模索しています。

スマートメーターの設置（両町）

利用者が1時間ごとの電力使用量を把握できる次世代電力量計（スマートメーター）を約300世帯に設置。電気の使用状況を「見える化」することで、住民の節電/ピークカット活動をサポートします。



オンデマンドバスの運行（高浜町）

東京大学が開発したオンデマンド交通配車システム「コンビニクル」を高浜町のバスに導入。複数の利用者からの予約を加味して最適なルートを選定するこのシステムにより、高齢者等バス利用者の利便性を改善しながら、同時に無駄な運行も減らし、地域交通の低炭素化を推進しています。

交通要所へのEV充電器の設置（両町）

JR若狭本郷駅（おおい町）の駅前や、道の駅「シーサイド高浜」（高浜町）など、両町内の交通要所4か所に、太陽光発電機と連結するEV充電器を設置しました。



低炭素で便利な交通システムの構築



メガソーラーの設置（両町）

おおい・高浜両町に1か所ずつ大規模太陽光発電設備（500kW）を設置し、再生可能エネルギーの活用を図ります。



（イメージ図）

エネルギーシステムの研究（福井大学）

公共施設等において、出力の不安定な再生可能エネルギーを有効活用するための、発電機や蓄電池等を活用したエネルギー需給の最適な制御手法を研究しています。

再生可能エネルギーの活用